



平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年5月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ゲームオン

コード番号 3812 URL <http://www.gameon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鄭 起泳

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 松本 将司

TEL 03-5447-6320

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	1,606	—	236	—	289	—	159	—
21年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	1,650.57	1,646.89
21年12月期第1四半期	—	—

(注)平成21年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成21年12月期の数値及び対前年同四半期増減率については、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	10,517	9,034	79.0	92,954.61
21年12月期	10,485	8,359	79.3	86,053.83

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 一百万円 21年12月期 8,318百万円

(注)平成21年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成21年12月期第1四半期の数値については、記載していません。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	—	—	2,000.00	2,000.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年12月期における配当金の金額は未定とさせていただきます。

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	3,416	—	209	—	256	—	140	—	1,453.50
連結累計期間	7,541	9.8	709	△48.2	803	△45.4	459	△44.5	4,755.05
通期									

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ― 社 (社名) 除外 ― 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年12月期第1四半期	99,592株	21年12月期	99,584株
② 期末自己株式数	22年12月期第1四半期	2,921株	21年12月期	2,921株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年12月期第1四半期	96,667株	21年12月期第1四半期	96,658株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
2. 当社が主に事業を展開するオンラインゲーム市場は、新規参入企業の増加とタイトルの権利獲得競争の激化、及びそれに伴う契約金の上昇等、事業環境に不確実性が存在しております。当社では、こうした状況に柔軟に対応するため、利益配分に関しては現在のところ内部留保を優先しており、配当予想は未定とさせていただきます。なお、配当の額はその有無を含めて、平成22年12月期第3四半期決算を目処に決定次第お知らせしてまいります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、一昨年に始まった世界同時不況の影響からいまだ抜けきれておらず、企業収益や雇用情勢に一部回復の兆しが見られるものの、総体的な所得環境が改善されていないため、個人消費が回復せずデフレ基調にあるなど、依然として厳しい状況に置かれております。

当社グループが事業を展開しておりますオンラインゲーム市場におきましては、前連結会計年度に引き続き参入事業者及び提供タイトルが増加しており、ユーザーの獲得競争が続いております。加えて昨今では、PC及び携帯電話をプラットフォームとしたソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）上でプレイできる「ソーシャルゲーム」や、ソフトウェアをインストールすることなくWebブラウザのみで楽しめる「ブラウザゲーム」が登場し、当該サービス提供企業に注目が集まっております。このように多彩なプラットフォームにおいてオンラインゲームが提供されることにより、オンラインを通じてゲームを楽しむ人口は増えておりますが、これまで以上にユーザーの選択肢は広がっているとも言え、今後は事業会社間の競争が更に激化するものと思われれます。

こうした状況の下、当社は「レッドストーン」「Soul of the Ultimate Nation」「ミュー〜奇蹟の大地〜」「天上碑」「シルクロードオンライン」「RF ONLINE Z」「眠らない大陸クロノス」「PRIUS ONLINE」のMMORPG（注1）8タイトル、FPS（注2）「Alliance of Valiant Arms」、TPS（注3）「GUNZWEI」、オンラインスポーツゲーム「EA SPORTS™ FIFA Online 2」の、計11タイトルにおける正式有料サービスを提供してまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、一部タイトルが計画を下回るなど厳しい状況となりましたが、主力タイトルである「レッドストーン」、及び「シルクロードオンライン」が計画通り順調であったことに加え、「Soul of the Ultimate Nation」が前連結会計年度に引き続き好調を維持し、売上に貢献いたしました。また「Alliance of Valiant Arms」におきましては、前第4四半期連結会計期間に実施したアップデートがお客様にご好評をいただいた結果、ユーザー数が伸びており、まだ売上規模はそれほど大きくはないものの、当第1四半期連結累計期間においては当初の見込みを大幅に超えて売上を伸ばしました。費用面については、広告宣伝費において、タイトルを選別して集中投下することにより効率化を図ったほか、今後予定されております新規タイトルでの広告展開を見込んで費用を圧縮いたしました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,606百万円、営業利益は236百万円、経常利益は289百万円、四半期純利益は159百万円となりました。なお、平成22年1月19日付で組成を完了いたしました「Geon コンテンツファンド1号」につきまして、当社グループがファンドの運営を実質的に支配しているため、当第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社といたしました。

当社は当第1四半期連結会計期間におきまして、MMORPG「Allods Online（仮）」「Lime Odyssey（仮）」「Luvinia Online（仮）」の3タイトルにおける独占ライセンス契約を締結しております。当社グループはこれまで、主にオンラインゲーム先進国である韓国からのタイトル導入を図ってまいりましたが、「Allods Online（仮）」はロシア、「Luvinia Online（仮）」は中国の新規タイトルを導入するなど、タイトル獲得ポートフォリオの多角化を実現することができました。また平成22年4月にはブラウザゲーム「銀河英雄伝説Online（仮）」の新規開発開始も発表しております。当社は今後、韓国だけでなく、多地域からの新規タイトル獲得を目指すとともに、新規事業を拡大し、事業の成長を図ってまいります。

なお、前第3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

（注1）「MMORPG」とは、「Massively Multi Player Online Role Playing Game」（多人数同時参加型オンラインロールプレイングゲーム）の略称です。

（注2）「FPS」とは、「First Person Shooting Game」（一人称視点シューティングゲーム）の略称です。

（注3）「TPS」とは、「Third Person Shooting Game」（三人称視点シューティングゲーム）の略称です。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態

前連結会計年度末から当第1四半期連結累計期間末までの財政状態の主な変動としましては、流動資産が8,724百万円から8,318百万円へ減少したほか、投資その他の資産が605百万円から996百万円へ増加したこと、流動負債が1,722百万円から1,113百万円へ減少したことが挙げられます。増減の主な要因といたしましては、流動資産につきましては法人税等の支払及び第9期配当金の支払等に伴う現金及び預金の減少によるもの、投資その他の資産につきましては、Geon コンテンツファンド1号による投資有価証券の取得や、新規タイトルの獲得に伴う長期前払費用の増加及び事務所増床に伴う敷金の増加によるもの、流動負債につきましては未払法人税等の減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて753百万円増加し6,442百万円となりました。当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりです。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において、営業活動により支出した資金は135百万円となりました。これは主に、税金当調整前四半期純利益は291百万円であったものの、法人税等の支払額620百万円等により減少したためです。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において、投資活動により増加した資金は377百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入1,351百万円及び定期預金の預入による支出500百万円のほか、新規タイトルの獲得に係わる長期前払費用の取得による支出200百万円、投資有価証券の取得による支出104百万円、事務所増床に伴う敷金及び保証金の差入による支出109百万円等によるものです。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において、財務活動により増加した資金は452百万円となりました。これは主に、Geon コンテンツファンド1号の組成に伴う少数株主からの払込みによる収入658百万円のほか、第9期配当金の支払による支出170百万円等によるものです。

なお、前第3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年12月期の予想に関しましては、主力タイトルである「レッドストーン」が堅調に推移しているほか、「Soul of the Ultimate Nation」が前連結会計年度に引き続き好調であるなど、当初の計画通りに進ちょくしているため、平成22年2月3日に発表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,942,588	7,040,214
売掛金	959,820	1,074,480
商品	1	6,781
貯蔵品	983	1,014
その他	466,655	656,190
貸倒引当金	△51,589	△53,780
流動資産合計	8,318,460	8,724,901
固定資産		
有形固定資産	191,806	168,080
無形固定資産	1,010,680	987,158
投資その他の資産	996,500	605,249
固定資産合計	2,198,987	1,760,488
資産合計	10,517,447	10,485,390
負債の部		
流動負債		
買掛金	425,361	390,879
1年内返済予定の長期借入金	99,996	99,996
未払金	237,641	215,147
未払法人税等	35,044	631,229
賞与引当金	24,355	111,000
役員賞与引当金	6,088	15,800
その他	284,831	258,346
流動負債合計	1,113,319	1,722,399
固定負債		
長期借入金	358,339	391,671
退職給付引当金	170	740
その他	11,085	11,372
固定負債合計	369,594	403,784
負債合計	1,482,914	2,126,184

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,625,023	2,624,926
資本剰余金	2,425,023	2,424,925
利益剰余金	3,630,060	3,663,830
自己株式	△399,895	△399,895
株主資本合計	8,280,211	8,313,786
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△227	△750
為替換算調整勘定	28,942	5,185
評価・換算差額等合計	28,714	4,435
新株予約権	48,518	40,984
少数株主持分	677,089	—
純資産合計	9,034,533	8,359,206
負債純資産合計	10,517,447	10,485,390

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	1,606,663
売上原価	543,829
売上総利益	1,062,833
販売費及び一般管理費	826,565
営業利益	236,267
営業外収益	
受取利息	31,754
為替差益	23,127
その他	979
営業外収益合計	55,860
営業外費用	
支払利息	1,487
投資事業組合運用損	1,080
その他	114
営業外費用合計	2,681
経常利益	289,446
特別利益	
貸倒引当金戻入益	2,191
その他	27
特別利益合計	2,218
税金等調整前四半期純利益	291,665
法人税、住民税及び事業税	38,377
法人税等調整額	91,273
法人税等合計	129,650
少数株主損益調整前四半期純利益	162,014
少数株主利益	2,458
四半期純利益	159,556

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成22年1月1日
至 平成22年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	291,665
減価償却費	75,846
のれん償却額	3,262
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,191
長期前払費用償却額	10,251
その他の償却額	221
賞与引当金の増減額(△は減少)	△86,645
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,711
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△579
株式交付費	44
投資事業組合運用損益(△は益)	1,080
受取利息及び受取配当金	△31,754
支払利息	1,487
為替差損益(△は益)	△23,190
売上債権の増減額(△は増加)	115,085
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,810
仕入債務の増減額(△は減少)	34,482
未払金の増減額(△は減少)	△35,890
未払消費税等の増減額(△は減少)	18,700
その他の資産の増減額(△は増加)	79,378
その他の負債の増減額(△は減少)	6,297
その他	△6,117
小計	448,534
利息及び配当金の受取額	38,647
利息の支払額	△1,963
法人税等の支払額	△620,910
営業活動によるキャッシュ・フロー	△135,691
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△500,000
定期預金の払戻による収入	1,351,211
有形固定資産の取得による支出	△182
無形固定資産の取得による支出	△87,428
投資有価証券の取得による支出	△104,100
貸付金の回収による収入	29,166
長期前払費用の取得による支出	△200,980
敷金及び保証金の差入による支出	△109,823
投資活動によるキャッシュ・フロー	377,862

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△33,332
株式の発行による収入	150
リース債務の返済による支出	△2,295
配当金の支払額	△170,917
少数株主からの払込みによる収入	658,679
財務活動によるキャッシュ・フロー	452,284
現金及び現金同等物に係る換算差額	59,129
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	753,584
現金及び現金同等物の期首残高	5,689,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,442,588

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日）

当社グループは、同一セグメントに属するオンラインゲーム事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。